

第3回研修会

日時：7月7、8日

会場：鈴鹿青少年センター 第1研修室

参加者：杉本、佐藤、平子良、西村、内田理、森下顧問、西川事務局

宮本（午後途中から）、平子雄（夕食から）、内田愛（夕食後）、中森（夜）

議事内容

① 志摩市ジュニアリーダーズスクール報告会（杉本、佐藤）

日時：7月1日

参加者：21名

内容（smily's 参照）

② 夜のキャンプファイヤーに向けての役割分担

→別紙参照

③ 鈴鹿市スポーツ少年団大会について

→レジメ参照 ※参加者、担当者に変更あり

- ・ 日にちの変更…8月5日→8月4日（4日の研修会を5日に延期）
- ・ 参加者…佐藤、石倉、西村、平子良、岡田、（加藤）
- ・ レク…『人生ゲーム』中の“神様”を“仏様”に変える
仏様までいった人はその場で座禅を組んで仏様の格好をする
- ・ ⑤だるまさん、⑥サザエさんの間に『拍手』、『人数集め』を入れる
- ・ ⑦の関所やぶりの卵を7日の夜実施（良枝の『落ちた落ちた』も）

④ 単位団へのPRの運営補助について

津西剣道スポーツ少年団合宿への補助：平子雄、西村、伊藤

PR方法→年齢幅が広いため、簡単に、わかりやすく！！（幼児～大人まで）

⑤ 団員大会について（宮本参加）

(1) 視察報告

会場が建設中…7月15日に完成予定

危険箇所が多い可能性あり

→16日に再視察予定（杉本、内田）

(2) 日程について

日時：8月18日、19日

会場：尾高高原キャンプ場

参加者：杉本、佐藤、宮本、加藤、辻本、石倉、西村、平子雄、中森、北崎、
内田理(18日昼～)

キャンプを通してのスローガン…

「SPORTS ART NATURE ～2日間で光合成～」

●19日の空き時間（約4時間）をどう使うか

* リーダー会でレクなどをするか、講師の先生を呼ぶか

→レクと流しそうめんをする（雨天決行）

流しそうめんのキャッチフレーズ…「YOUたち流しちゃいなYO!!」

- ・ 竹は日独受け入れの時のを分けてもらえる
 - ・ サンプルのプリントを各班に1枚ずつ用意して、それを参考にしながら、各班で竹を切るところから自分たちで計画して作る
 - ・ 18日の登山の前後に班別で計画を立てる
 - ・ 刃物を使うときは各班に班付きの他に空いているリーダーをつける（のこぎりを使う子はリーダーが指名する）
 - ・ 竹を支える足を脚立にすれば、分かれ道が作れる
- ☆サンプルの作成をする

●登山について

- ・ キャッチフレーズ…「尾高！ふしぎ発見」
- ・ 登山の時に各班にビニール袋を渡して、自然のものをひろってきてもらう
→あらかじめ3つくらい指定しておいてオリエンテーリング形式にしてもおもしろいかも
- ・ 拾ってきたものはファイヤーが中止になったとき、流しそうめんのデコレーションに使用する
- ・ 事前にリーダーが登っておいた方がよい（危険箇所の確認）
- ・ 雨天時は室内レク…新聞を使う？

※雨天の場合、ファイヤーの代わりに施設が用意してくれる（キャンドルファイヤー？）

☆夕食準備が終わってからのレクの内容を考える

⑥ 全国リーダー連絡会について

(1)ブロックリーダー研究大会に参加したことによる具体的な成果について

- ・ 原点（初心）がスポーツであるということに改めて気づいた
- ・ 心身共に鍛えるというラジオ体操の大切さ、深さを学んだ
- ・ 忍耐力を養い、団員の立場に立ってスポーツに取り組めた

(2)ブロックリーダー研究大会に参加して感じた開催県側の課題と参加県側の課題について

【参加県の課題】

- ・ リーダー会の主要メンバーが主に動いていた
- ・ 「初心に戻る」ことが大切
- ・ 次の行動を把握していないことがある
- ・ 同じ県内のリーダーでも積極性に大きな差がある（ディスカッションで話せない子が出てくる）

【主催県の課題】

- ・ 事前研修での打ち合わせ不足で日程を把握できていないため、正しい指示が出せなかったり、ディスカッションに参加できてなかったりした
- ・ リーダーの「ラジオ体操をすることで何を学ぶか」という意識の統一ができてなかった（用途、目的の説明がほしかった）
- ・ リハーサル不足のため、急に指導者による日程の変更などがあり、場をしきっているのが指導者だと感じるがあった

(3)参加県として感じた大会のメインテーマ（交流・研修どちらがメインか）、また、プログラムの内容について工夫が感じられた点について

- ・ 「原点に戻る」→スポーツということを気づかされた
- ・ ラジオ体操の資料を配付してもらったため、後々単位団などで行う時に振り返ることができる
- ・ 浜名湖でのサイクリングという静岡でしかできないことができた
- ・ ラジオ体操を「スポーツの原点」としたこと
- ・ 2人組のラジオ体操という関心を持てるものがあり、厳しさが中和されて楽しめた

(4)事件を含めて参加者に関する問題点(目的意識や参加する姿勢等)について

- ・ 県内のリーダーの大会への意識の違い
- ・ ラジオ体操から何を学ぶかという目的意識の統一ができていない

(5)企画・運営に関する問題点や工夫している点について感じられたことについて

- ・ スポーツという原点に帰れた ←三重はレクにつなげてしまうから

(6)経費の使用方法について工夫していると感じられた点について

(7)次期開催県としての引き継ぎの受け方や、次期参加者への引き継ぎの方法の問題点や工夫している点について

- ・ 東海では、参加者のメッセージを書いた旗を作り、次期開催県に手渡しする

(8)各都道府県リーダー会活動とブロックリーダー研究大会との研修内容に関する連携および連携に向けての課題について

- ・ 東海では、大会の事前に各県リーダー会で、テーマについて十分話し合い、東海ブロックで持ち寄る
- ・ 課題としては、テーマの決定が遅いと、十分に討議ができないことがある

⑦ 備考

- ・ 8月5日（仮）の夜、日独同時交流受け入れ事業で、四日市祭りに行くため、四日市のリーダー中心に参加者募集中。。。。